

旭川市議会議員

笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863

kasagi@potato.hokkai.net

お元気ですか

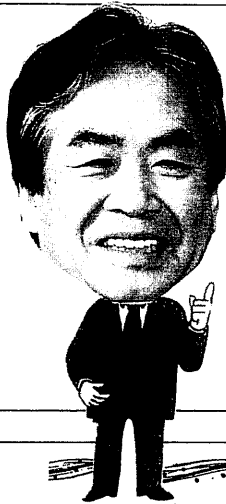


春本番。花鳥歌う。

雪が大暴れした北海道の冬でした。待ち遠しかった春の訪れ。かおる通信62号をお届けします。春夏秋冬をサイクルに発行しています。ご笑読賜れば幸いです。

旭川市議会議員

笠木かおる



「第4回かおる旅行会」参加者を募集します

「第4回・笠木かおる旅行会」の日程が決まりましたのでご案内いたします。ゆっくりと温泉につかり、楽しい宴会も企画しています。ご参加をお待ちいたします。

- ◇旅行日 6月2日(日)～3日(月)
- ◇宿泊温泉 登別温泉・石水亭
- ◇会費 10,000円
- ◇募集人員 120名(定員になり次第締め切ります)
- ◇申込み方法 連合後援会(豊岡5条9丁目1-2 電話・FAX 32-4863番)までご連絡ください。詳細・申込み用紙を送らせていただきます。



地区後援会の新年会。ありがとうございます。

新春のつどい



東旭川(中川希一会長)、千代田(島田昭雄会長)、愛宕(中沢義弘会長)、豊岡(坂本良作会長)の地区後援会で、今年も新春のつどいを開いていただき、4会場で延べ、360名の皆さまに足を運んでいただきました。地域とふるさとの温かさは、何故か気持ちを新鮮にしてくれます。出会いでの話題、声なき声は、自分の議員活動の大きな源です。

(写真:東旭川会場には長女や孫たちも激励に来てくれました)



地域の絆。



最近、私の住む地域でも一人暮らし高齢者の孤独死が相次ぎました。第一例会の代表質問では、「過度で、いき過ぎの『個人情報保護』という考えや対応が、行政や地域に存在していないか」と、ただしました。今後益々、地域の見守りや声かけなどが大切になってくるとの思いからです。また、町内会等が焼肉交流会や盆踊りなどで地域の公園を使用する場合、絆社会に寄与するため今後、正式に公園の火気使用を認めるとの市長答弁がありました。

(写真:千代田地区社会福祉協議会の「ふれあいいきいきサロン」で。)



共生園・ユニット型30床を増床

このほど、特別養護老人ホーム「共生園」(東旭川町共栄)の30床増床計画が認可され、今夏に工事着工することになりました。増築する特養は、10人単位で入所生活をする「ユニット型」。「従来型」との選択も可能となり、入所待機者の減少を目指し整備するものです。



(写真:共生園事務所職員の新年会風景)



3月30日、美馬孝充さんと篠崎麻里さんの結婚式で、僣越ながら祝杯の音頭をとらせていただきました。孝充さんは、2年前の自分の選挙で、1月から4ヶ月間、朝7時から夜8時～9時まで毎日、お手伝いしてくれた大切な人。自分の息子のように嬉しく、美味しく祝い酒をいただきました。

代表質問。



平成25年度の旭川市予算を決める第1回定例市議会は、2月21日に開会し、3月25日までの33日間の会期で開かれました。

私は昨年に引き続き3月4日、会派「民主・市民連合」の会長の立場で、トップバッターで代表質問に立たせていただきました。

いま、35万人の旭川市民は、先達が築いた立派な地方都市・旭川に住まいし、家族のため、会社のため、そして郷土のために、目の前の「今」を懸命に生き抜いています。政治や行政の責任は、こうした市民が、これからも頑張れる環境をいかに作り出しているかとの思いで、「一生懸命」に質問したつもりです。(質問要旨は裏面に記載)

早いもので4年間の任期も折り返し。残り2年の後期、悔いのない議員活動に精進していきます。



東部まちづくりセンター



豊岡3条3丁目の豊岡交番横に「東部まちづくりセンター」を整備することが決まりました。豊岡消防所と豊岡・東旭川地域包括支援センター、証明書交付窓口(支所機能の一部)が併設される複合施設です。

今日まで、豊岡地区市民委員会をはじめ、7つの東地区の市民委員会と要望を続けてきたもので今年度、実施設計をして26年に工事が始まります。

(豊岡地区市民委員会新年会で。濱田敏彦会長、山根昇地区社協会長と。)

公認の人工芝サッカー場、2面整備も決定

東光スポーツ公園に人工芝サッカー場を、2面整備することも決まりました。旭川地区サッカー協会(太田英司会長)とともに、西川市長に強く要望してきたものです。今年秋の完成をめざし、明春の雪解けから共用開始予定です。小学生から「還暦」に至るまで、サッカーに親しむ市民は増え続けています。社会人などが仕事を終えて使用できるようにとの、「ナイター設備の整備」も引き続き、実現に努めていきます。

(写真:同協会の総会で。太田会長らと。)



母校・旭川商業高校

4月2日、旭商同窓会の荻野慶博常務理事らとともに、母校・道立旭川商業高校に接する市有地の有効利用について、旭川市と協議しました。同土地は鉄道高架事業により、廃止となった元市道用地。(財)旭商奨学会の「資料館」建設用地やクラブ活動の練習用地に使用したく現在、取り組んでいます。



旭川神社

節分の日、今年も旭川神社の豆打ちの儀に奉仕させていただきました。旭川神社は自分の心のふるさと。カミシモを纏う空気は、身も心も清められるカラッとした神社独特の香りでした。



全日通の退職者

2月24日、全日通旭川退職者の会(山川博千会長)の総会でした。初陣選挙の時からズーとお世話になっており15年前、緊張して挨拶させていただいたことを思い出しながら、演壇にたたせていただきました。ただただ「感謝」の挨拶でした。



ペーパン地区

東旭川豊田地区の餅つき大会が1月13日、「びあふる岩山」で開かれました。地域の絆を感じながら、つきたてのお餅を皆で丸めました。



旭川市パークゴルフ協会

1月20日、旭川市パークゴルフ協会の総会でした。このなかで鈴木総会長が勇退し、谷島公丸さんが新会長に就任しました。「パークゴルフで健康な街づくり」をライフワークに、今年もがんばります。



福祉の充実

1月27日、旭川身障者福祉協会(稲垣則子会長)の新年会にご案内を頂きました。「福祉をやりたい」は、自分の信念です。これからも障害をお持ちの方々と一緒に歩みたいと思う、自分です。

日中友好新春の集いが2月20日に開かれました。尖閣問題など課題は多いですが、草の根の友情こそ両国にとって一番大切と思い、友好乾杯の音頭をとらせていただきました。



【近況】3月24日孫の次男・匡志くんの卒園式に顔をだしました。四季と自然の中で育てられた4年間。エール保育園の先生たちに感謝しながら、感動の卒園式でした。

予算委員会質疑

3月18日、予算等審査特別委員会で「自転車レーン」の設置など、自転車が安全に走行できる環境整備に集中して質疑しました。上川100万石の盆地に位置する旭川は、坂道が少なく、風も弱く、自転車利用に適し、健康・環境負荷の観点からも自転車の普及促進に強く取り組むことが大切だと思います。理事者からは「自転車ネットワーク計画策定委員会」を設置して、自転車環境の整備をすすめるとの答弁がありました。



第1回定例会市議会での代表質問(3月4日)の、質問要旨と市長・教育長の答弁要旨を報告いたします。

- (笠木) 市民の暮らしの実情をどう分析しているか。
- (市長) 市民生活の厳しさや将来への不安をひしひしと感じており、その私拭のため全力を尽くす。
- (笠木) 急激な円安や2%のインフレターゲットは、特に政治が守らなければならない低所得者層や年金生活者に、逆に打撃を与えるという懸念が広がっているが。
- (市長) 国の政策が及ぼす影響を把握し、必要な施策を判断していく。
- (笠木) 郵便局や新聞配達店、運輸産業などと協定を結び、一人暮らし高齢者の安否確認事業をできないか。
- (市長) 民間配達業者と連携して、見守りの強化を実施したい。
- (笠木) 「限界集落」の対策本部を設置して、過疎対策を強める時と思うが。
- (市長) 関係部局の連携により、過疎・集落対策を強めていく。
- (笠木) 本市の持つ高い消防力を、どう周辺自治体に活かすか。
- (市長) 「消防の広域化」などで、圏域全体の更なる安心安全を図る。
- (笠木) エジノサハリンスク物産展での成果が期待されているが。
- (市長) 道北の誇る農産物や加工食品をサハリン市場に売り込んでいきたい。
- (笠木) 「空の駅」構想や「SORA マルシェ」で目指す経済効果はなにか。
- (市長) 地元の物産を外に売り込むための発信拠点としていきたい。
- (笠木) 「神楽・道の駅」の営業内容を良くできないか。
- (市長) 施設リニューアルや運営の民間移管、飲食の充実などを行う。
- (笠木) 第4期工業団地造成に着手する時期に入ったのではないか。
- (市長) 造成については企業誘致の推移を見ながら検討を進めていく。
- (笠木) 「農から始まり、農に行き着く」という基本で、「環境配慮型都市」をめざせられないか。
- (市長) 再生可能エネルギーの利活用について調査・検討を進める。
- (笠木) TPP に対する市長の決意は。
- (市長) 道民の合意がないなかでの TPP 協定への参加は認められない。
- (笠木) 農業者戸別所得制度の継続を求めていくことが必要か。
- (市長) 農業団体等と連携して、継続を国に要望していく。
- (笠木) JR 駅直結の大型商業施設「イオン」建設に対する取り組みは。
- (市長) 地元経済界等と連携し、イオンモールに対し、より具体的な要望を行う。
- (笠木) 北彩都地区の土地利用を促進すべきだ。特に、シンボル施設の公募を急ぐべきと思うが。
- (市長) 6月頃に公募し、25年度内に事業者の決定をめざす。
- (笠木) 今秋一部オープンする北彩都ガーデンにどう、人を呼び込むのか。
- (市長) 入場料や駐車場使用料の無料化なども検討する。
- (笠木) 新庁舎建設は、集中した期間で、完成年度を早めるべきではないか。
- (市長) 庁舎建設懇話会をたちあげ、26年度に新庁舎建設基本構想を策定する。
- (笠木) 「まちづくり基本条例」「新・財政健全化プラン」の策定など、重要な新年度。第8次総合計画の策定作業にも着手すべきだ。
- (市長) 次の時代を見据え、まちづくりの指針を示してまいりたい。
- (笠木) 学校給食提供システムをどのように変えていくのか。
- (教育長) 統一献立から地域別献立、それに伴う地域別配送体制を検討する。
- (笠木) 生活保護費削減に伴い、就学援助に影響はでないか。
- (教育長) 子どもの教育に影響が及ばないように、注意を払っていく。
- (笠木) 30人学級の25年度の取り組みは。
- (教育長) 25年度は全校の小学1年生を対象に30人学級編制を実施する。26年度は全校の1~2年生を対象としていきたい。

